

「火の用心だより」

第88号(7月号)

発行：札幌市消防局予防部予防課

こんろ火災に気をつけましょう！

私たちの日常生活において、ごはん作りなどで使用する「こんろ」は欠かせないものです。しかし、使用頻度が高いからこそ、火災の出火原因として毎年上位をキープしています。令和3年中の建物火災計274件のうち、こんろ火災が68件で出火原因の第1位でした。

こんろ火災の中でも天ぷら油が原因となる割合が特に高くなっています。天ぷら油が発火した際にあわてて水をかけてしまうと、急激に炎が大きくなり大変危険です。スマートフォンをお持ちの方は、下にある二次元バーコードを読み取り、ぜひ動画で確認してみてください。

400ccの天ぷら油は、火にかけてから約7分で発火します。たった7分です。

トイレや電話など、少し目を離れた際に火事になります。自分や家族、家を守るためにも、こんろを使用する際は目を離さない！もしもに備えて消火器や自動消火装置などを備えておく！火災予防へのご協力をよろしくお願いします！

●こんろ火災予防のポイント●

- ① こんろを使用しているときはその場を離れない、離れるときは必ず火を消す
- ② こんろの周りは整理整頓し、燃えやすいものを置かない
- ③ こんろと壁の距離を十分にとる
- ④ こんろやグリル内の油汚れは清掃する
- ⑤ 調理後の揚げカスや油は、冷ましてから廃棄する
- ⑥ 衣類の袖口などを火に近づけないよう注意する



発火した天ぷら油に水をかけると・・・



動画はこちら



発火した天ぷら油に消火器を使うと・・・



動画はこちら



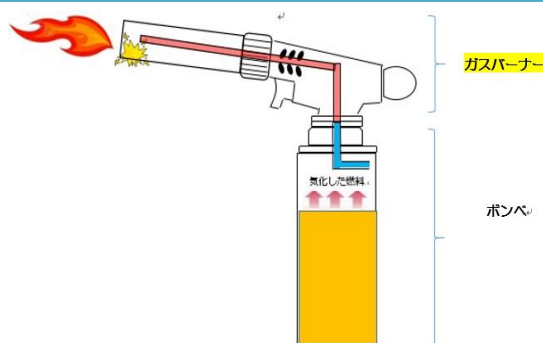
ガスバーナーの使用方法にご注意を！

ガスバーナーとは、市販のカセットボンベに取り付け、ガスを燃焼させるものです。アウトドアでの火おこしや、DIYなどで使用する方も多いのではないのでしょうか？ライターのようにすぐ点火できるもので、現在では一般家庭でも広く普及しています。

しかし、ガスバーナーから出火すると、ガスに引火しているため簡単に火を消すことができません。海外製品などで説明書も外国語表記の場合は、使用方法が理解できないこともあります。使用前の安全確認はとても大切です！必ず実施してください！

●よくある危険な使用方法●

- ① 油汚れが付着したまま使用する
- ② 傾けて使用する
- ③ 変形や破損したまま使用する
- ④ カセットボンベにしっかりと接続されていない

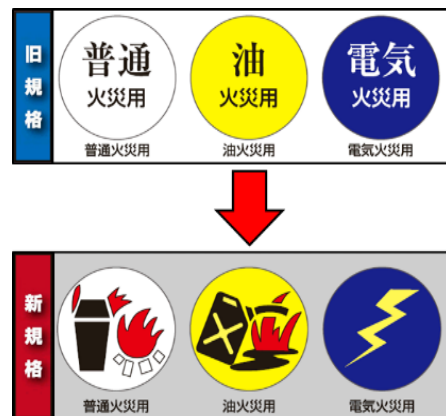


消火器が型式失効していませんか？

消火器の設置義務が生じる建物で、旧規格の消火器が設置されている場合は、新規格の消火器へ交換が必要です。旧規格の消火器と新規格の消火器との見分け方は、右図のとおり、消火器に記載されている表示で確認できます。

ご家庭に自主的に設置している消火器については、消防法令上の交換義務はありませんが、使用期限が切れている場合や腐食がある場合は交換を推奨しています。

※消火器の回収・処分は、消防局では行っていません。回収等のご相談につきましては、スマートフォンをお持ちの方は右側の二次元バーコードを読み取るか、株式会社消火器リサイクル推進センターの電話番号へお問い合わせください。



消火器の回収・処分のお問い合わせ先



株式会社消火器リサイクル推進センター
電話番号 03-5829-6773

市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO



02-N0622-439
R4-2-404